

こくりゆう だより



大阪府立桜塚高等学校 3年 増元 淳香
「小さい頃は、よくてるてる坊主を飾っていました。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



おまつり地球一周クラブ
きょうみシンシン

シンガポール編

6月22日(土)

10:00~12:00

シンガポール出身の講師から話を聞き、ゲームなどを体験。

対象:小・中学生

定員:15名(先着順)

参加費:300円

申込:6月18日(火)まで来館、電話にて受付。

夏期ホストファミリー
ボランティア登録説明会

6月23日(日)

14:00~16:00

ホストファミリー事業(家庭宿泊なし)の説明、経験者や留学生との懇談ほか。

定員:30名(先着順)

参加費:無料

申込:来館・電話にて受付。
(保育希望の方も要申込・300円)

世界を食べよう
ベトナム編

6月27日(木)

10:00~13:00

ベトナム出身の講師とバイミー(サンドイッチ)などの料理を作って、食べながら交流する。

定員:15名(先着順)

参加費:1800円

申込:6月23日(日)まで来館・電話にて受付。

3月23日(土)開催

市民ゼミナール

メディアリテラシー入門「子どもとメディア」

あらゆる情報を正しく読み解く力を養うため、毎年開催しているメディアリテラシー入門講座。今年度も開催されました。

今回のテーマは「子どもとメディア」。スマートフォンやタブレットなどの普及もあり、私たちは家庭の中のあらゆる場所にメディアを持ち込んでいて、“メディアに囲まれて”生活をしています。それは子どもも例外ではなく、テレビアニメやネットの動画などを子育ての中で使われている方も多いのではないのでしょうか。



講師の登壇あずささん



講師の田島智之さん



例年になく若い参加者が多く来てくれました。

今回はメディアリテラシーの基礎的な知識に加え、実際に子どもに人気のテレビアニメや動画を見ながら参加者同士で話し合いました。テレビアニメでは本編と連動したおもちゃやアニメキャラクターとタイアップした商品のコマーシャルを見ながら、テレビとグッズ販売の密接なつながりについても話し合いました。

参加者からは「子どもからしたら本編とコマーシャルの区別が出来ないのでは？」など、問題意識を持った感想も寄せられました。
(協会職員・黒島トーマス 友基)

4月26日(金)開催 「人権に格差があってはならない」～多言語スタッフ向け研修会を実施しました

外国人のための多言語相談サービス事業では、母語話者の女性スタッフ（多言語スタッフ）と相談員が対応にあたっています。相談に適切に対応するため、スタッフ向けに随時研修会を実施しており、4月26日には「在留管理制度やその他の制度について知ろう」と題して研修会を行いました。

在留資格の様々な制約の他、外国人が直面する様々な生活問題（住民登録、戸籍、国籍、福祉、労働等）や4月の法改定の内容について学びました。また、講師の木村雄二さん（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク（RINK））からは「外国人の人権尊重のためには法制度も社会の意識も変革が必要。私たちは地域社会から行動していかなければならない」との問題提起をうけ、スタッフ一同現場での対応から一歩踏み出していくことの重要性を感じた時間となりました。



研修会の様子

(協会事務局次長・山本愛)

《今月のオススメ図書》

日本初の、国際交流協会の実践の歴史の解本本。

職員やボランティアはもちろん、市民や市役所の立場、都市社会学、日本語教育、文化人類学、教育社会学、社会福祉、国際人権等々研究者も執筆している。

こまごまと晒したのは、この歩みを広く、多くの人と共有し、様々な現場で使って欲しいという思いがあるからだろう。

是非ご一読を！
(協会理事・榎井 縁)

『外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの』
各書店にて絶賛販売中！



6月29日(土)開催予定

「外国人と共生する地域づくり～

大阪・豊中の実践から見えてきたもの」

出版記念フォーラム ～とよなか国際交流協会・大解剖！～

明石書店より刊行した『外国人と共生する地域づくり～大阪・豊中の実践から見えてきたもの』の出版を記念してフォーラムを開催します。

監修者であるよまきさとつねじ牧里毎治さん（関西学院大学名誉教授）の基調講演と、とよなか国際交流協会の活動のエッセンスを集めた4つの分科会から、豊中における多文化共生のこれからを皆さん共に考える機会としたいと考えております。

ぜひお集りください。（詳細はウェブサイトにてご確認ください）

日時：2019年6月29日(土)13:00-16:00（開場12:30）
会場：すてっぷホール（とよなか男女共同参画推進センター「エトレ豊中」5階）
（分科会会場はとよなか国際交流センター「エトレ豊中」6階）
定員：130人 参加費：無料（無料一時保育有）
申込：電話、FAX、メールにて受付。（保育申込は6月25日(火)まで）
申込先・主催：公益財団法人とよなか国際交流協会

Youは何しに国流へ？

第21回

センターに関わる人々をご紹介します☆

今回はよみなか国際交流協会理事・ 栗高喜秋さんにご寄稿いただきました。

国流とのおつきあいは、北桜塚にセンターができた頃
に遡ります。市役所の職員組合の執行委員をしていた関係で時々おじゃましていましたが、当時は情報交換する
程度でした。

5年前、協会の理事の欠員補充で私にお鉢が回ってき
ました。迷いましたが、言葉は通じなくても身振り手振
りで話是可以し、目と目で心は通じることとお引き
受けしました。実際のところ、理事会とイベントに何回
か参加することしかできていませんが、楽しいです。

楽しいといえば、このあいだ花見
に行ったらペルーの人たちがバーベ
キューをしていました。久しぶりに
会った仲間なのでしょう、スペイン
語でしゃべりまくっていました。

それを見て一句・・・

母国語の 会話楽しむ 花見かな

喜秋



よみなか国際交流協会
理事

栗高 喜秋さん

コラム

少しだけ北の国から@福島 (第18回)

辻 明典

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんがふん”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市
に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

2011年3月11日から、8年と2ヶ月がたった、2019年5月11日に、この原稿を書きはじめました。月命日に当たる毎月
11日は、海岸線を検索する日です。

僕の知人をたどっていくと、まだ行方が分からないままの方々に出会います。「もしかしら、遺品が見つかった
かもしれない」と警察から連絡があり、「身元を確認するために、DNA鑑定をしましょうか」との提案を受けても、
そもそもかつて住んでいた家（もう8年前です）が丸ごと流されてしまっているので、鑑定に必要な形見の品が一つ
も残っていない、ということもあるのだと、つい最近に、今更ながら知り、遺族の方の思いはいくばくかと、胸が
ぎゅっと締め付けられそうになります。

もうすぐ故郷が、津波に襲われて、放射能にも汚染されてから、10年が経とうとしているのに、過去が、流れても
いかず、積み重なってもいらないことに気づきます。なんとなくかもしませんが、雰囲気が変わり始めている感触も
あります。うまく言葉で説明することは難しいのですが・・・「とりあえずは、日常を過ごすことの方が大切だから」
「放射能のことを気にしている」と、暮らしてはいけないから」といった、あきらめとも、忘れるとも少し違う、日常
を取り戻しつつある状況に残る、なんとなく妙な雰囲気です。

スペトラーナ・アレクシェーヴィッチがチェルノブイリ原発事故の約10年後に、『チェルノブイリの祈り』という
作品で世に問うたことを考えると、おこがましいと思いつつも、僕は福島原発事故後の世界と真摯に向き合っている
のだろうか、自分自身に問いかげずにはいられません。果たして、丁寧に（これが一番難しいことなのです
が・・・）、この負の出来事に向き合っているのだろうか、と。

【ボランティア募集中！】 外国にルーツを持つ子どもの学習支援 **サンブレイス** に参加してみませんか？

よみなか国際交流協会では、外国にルーツを持つ子どものための学習支
援・居場所づくりの活動「サンブレイス」を開催しています。

「サンブレイス」では、子どもと一緒に学校の宿題をしたり、思いきり遊
んだりしながら、外国にルーツをもつ子どもにとって家でも学校でもない
“第三の居場所”を作っています。現在、この活動に参加できる大学生・大
学院生ボランティアを絶賛大募集中です!!居場所づくりに関心がある、何
か新しいことを初めてみたい……などなど、そんな あなた!ぜひ!!

また、活動に参加する子どもも募集しています。外国にルーツをもつ子
どもや保護者の方にぜひご紹介ください。

(協会職員・山根絵美)



最近は卓球と人生ゲームが大人気で、みんなで
楽しくワイワイ過ごしています!

学習支援 サンブレイス 活動概要

対象：外国にルーツをもつ子ども（小学生以上）

日時：日曜日 13:00～15:00（毎月1日曜日は休み）

参加費：無料

登録グループの活動紹介



No.18 木蘭拳の会

――移転前のセンター(北桜塚)で活動を始められたとお伺いしたのですが、そうすると10年以上続けておられるということですね。

井関: このメンバー全員ではないですが、一番古いメンバーは設立から続けていますね。

――私(三木)、実はセンターで働き始めてから「木蘭拳」という言葉を知ったのですが、木蘭拳をされている方は日本にたくさんいるんでしょうか?

田中: 木蘭拳は太極拳や他の武術と比べると人口は少ないですね。今木蘭拳の会に固定で来ているメンバーは10名ほどです。

小林: 私も一時期お休みしていたけれど、またやり始めようと思って。こうしてみんなに会うのも楽しいです。

――講師の陳さんは、この会の設立当初から教えてらっしゃるんですか?

陳: そうですね。上海に木蘭拳センターという施設があって、そこで講師の資格を取得しました。

田中: 先生が木蘭拳の資格を持っているということで、「それならぜひ教えてください」ということでまずは始まったんですよね。

陳: 名前に「拳」が入っていますが、私は子どもの頃から踊りが好きで、動きがやさしくて踊っているようにも見える木蘭拳が自分には合っていると思っています。

門田: ゆっくり動くので、身体も温まるんです。

井関: それに、みんなが活動で使う扇子や衣装も、先生がわざわざ上海から調達してきてくれるんです。

とよなか国際交流センターには、市民による自主的な国際交流活動を支援するための登録グループ制度があります。今回は「木蘭拳の会」で活動する皆さんに、活動内容や国際交流への思いを伺いました。

(聞き手: 協会員 三木幸美)

――とよなか国際交流フェスタの活動発表で着られている衣装ですね! 本場の小道具やみんなでお揃いの衣装があると、やる気というか気持ちが高まりますよね。活動中もすごく和やかな雰囲気伝わってきます。

井関: 1年に一度くらいですが、みんなで上海料理を作ったりするんですよ。それも上海の家庭料理だから、すごく美味しくて。

田中: 今はこんな感じでゆるく、楽しくやっていますね。



活動中の様子

音楽に合わせて
身体を動かします



【活動・団体についての問い合わせ先】

団体名: 木蘭拳の会

活動時間: 毎週火曜日 13:30~14:30

問合せ: 06-6854-2569 (田中)

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第122号(2019年6月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
阪急宝塚線豊中駅すぐ

開館時間: 9:00~21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375

E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: <http://www.a-atoms.info/>



SNSも随時更新中!

多言語情報も
配信しています!

「とよなか国際交流センター」で検索!

